

# 令和4年度第49回沼津市芸術祭 美術展審査結果報告

## ◇ 作品点数

	洋画	日本画	水彩・版画	合計
一般公募作品	55	16	28	99
無鑑査作品	10	5	4	19
招待作品	4	2	4	10
合計	69	23	36	128

◇ 審査日 令和4年10月19日(水)

◇ 審査員

- 洋画 竹井 連(洋画家)
- 日本画 倉田 文昭(日本画家)
- 水彩・版画 渡辺 美津代(版画家)

## 受賞点数

「芸術祭賞」3部門の中から1点

「市長賞」、「市議会議長賞」、「教育長賞」、「静岡新聞社・静岡放送賞」各部門1点ずつ

水彩・版画部門のみ「山口源の会賞」1点(版画)

「優秀賞」、「奨励賞」点数

洋画(優秀賞5点、奨励賞12点)、日本画部門(優秀賞1点、奨励賞2点)、水彩・版画部門(優秀賞2点、奨励賞4点)

## ◇ 受賞作品・作者名

### ● 洋画部門

賞	題名	氏名	住所
市長賞	生卵回帰	夏目 幸弘	裾野市深良
市議会議長賞	休息の季節	渡邊 悠貴子	沼津市原
教育長賞	緑の道	栗田 米子	沼津市西添町
静岡新聞社・静岡放送賞	五月	佐々木 眞知子	沼津市東椎路
優秀賞	源平川	小林 艶子	沼津市大岡
優秀賞	万緑の季節	外川 雄章	駿東郡長泉町下土狩
優秀賞	エカン(長老)の嘆き	本田 好	静岡市清水区蒲原
優秀賞	窯	松本 静香	沼津市吉田町
優秀賞	水遊び	松本 民子	沼津市豊町
奨励賞	バイラドル(ダンサー)	青木 眞子	三島市西若町
奨励賞	孫(フォードプラザにて)	石井 文男	沼津市大諏訪
奨励賞	カンナ咲く風景	伊東 好子	沼津市平沼
奨励賞	旅の思い出	植松 徹	沼津市西添町
奨励賞	Memento mori	瓜島 ありさ	三島市谷田
奨励賞	八海山「春」	桐生 勉	田方郡函南町上沢
奨励賞	悠悠～クスノキ～	久保寺 真由美	沼津市江原町
奨励賞	朽ち木に生きる	清水 美佐子	沼津市原
奨励賞	城ヶ崎の荒海	勝呂 道夫	沼津市大岡
奨励賞	クリスマスを待つ	田村 洋子	沼津市石川
奨励賞	誰もいない海	野崎 典子	沼津市根古屋
奨励賞	森の精	八木 はる代	駿東郡清水町中徳倉

● 日本画部門

賞	題名	氏名	住所
市長賞	なにわいばら	上田 くに枝	沼津市寿町
市議会議長賞	布袋葵	影山 静子	沼津市大平
教育長賞	舞う	井上 美津子	三島市谷田並木
静岡新聞社・静岡放送賞	花かご	遠藤 よしの	沼津市大手町
優秀賞	寒中に咲く	大村 泰子	沼津市大手町
奨励賞	秋	片岡 喜志子	沼津市東椎路
奨励賞	輪	堀谷 弓子	駿東郡長泉町元長窪

● 水彩・版画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	未知の世界	陶山 昌和	沼津市下香貫西村
市長賞	ブナは緑のダムなんだよ	鈴木 恵三	三島市大宮町
市議会議長賞	R4-9C	古地 幸治	沼津市東沢田
教育長賞	薔薇香る季	渡邊 利彦	沼津市平町
静岡新聞社・静岡放送賞	望の月	金子 幸	沼津市新沢田
山口源の会賞	春・夏・秋そして冬	遠藤 あけみ	沼津市若葉町
優秀賞	紫陽花	尾沢 昌己	沼津市大岡
優秀賞	冬の青空の下で	田島 豊久	駿東郡清水町八幡
奨励賞	高嶺の花	石橋 真行	裾野市御宿
奨励賞	空へ(リンゴの眩き)	小原 榮	沼津市原町中
奨励賞	ライブセッション	杉山 雅彦	三島市芙蓉台
奨励賞	御茶の水駅界限	中山 叔俊	沼津市庄栄町

◇ 審査短評

● 洋画部門

審査総評	<p>新型コロナの猖獗による2年のブランクがあり、出品者数や作品の質が心配でしたが、数も増え、見応えのある作品が多く安堵した次第です。</p> <p>今後は真に市民の芸術祭になるため、若年層の参加を強く呼びかけたいと思います。</p> <p>市長賞「生卵回帰」 累卵の危機という言葉が浮かびました。割れた卵に現代の世相を感じます。大胆細心の仕事ぶりです。</p> <p>市議会議長賞「休息の季節」 ゆったりとくつろいだ人物像に巧みなデッサン力が見てとれます。心のうつろいを背景のゆらぎに反映させています。</p>
------	--

● 日本画部門

審査総評	<p>この度の審査作品が16点、もう少し多いと良いと思います。</p> <p>市長賞「なにわいばら」とてもすっきりして爽やかな感じがして素晴らしい作品だと思いました。</p> <p>市議会議長賞「布袋葵」 透明感のある画面で、あっさりとした中にも凛とした空気が漂います。</p> <p>教育長賞「舞う」 稚児のあどけなさ生き生きとした生命感が感じられます。</p>
------	--

● 水彩・版画部門

審査総評	<p>バラエティに富んだ作品がそろいました。芸術祭賞の作品は、個性、構成力があり、見る人を別の世界へ誘う作品で、高い評価を得ました。</p> <p>市長賞の作品は、森の佇まいと共に、「人」が描かれていて、説得力があり、心に沁みるものを感じました。</p>
------	---